

目次（追録分）

事例NO.19 「運動会までの取組」	2
事例NO.20 「今、お片付けです」	4
事例NO.21 「早くしないと、遊ぶ時間がなくなるよ」	6
事例NO.22 「足ちよきちよきしちゃうよ」	8

事例 NO. 19 「運動会までの取組」

練習で全員が並ぶ時、4歳のA児がウロウロしていた。自分の立ち位置がわからないようである。

保育者は、

「聞いてないからわからへんのやろう？」

「ここやで。」

と手を引っ張って指導した。

A児は、自分の立ち位置に立つことができたが、少しふてくされた様子であった。

<p>保育事例に対する感想</p>	
<p>演習のポイント</p>	<p>① A児がふてくされた様子になったのはなぜだと思いますか？</p> <p>② 「聞いていないからわからない」ではない表現で伝えるにはどうすればよかったですでしょうか？</p> <p>③ 手を引っ張る行為には即効性がありますが、他にどんな指導法があるのでしょうか？</p>
<p>演習後の感想</p>	

事例 NO. 20 「今、お片付けです」

楽しくワイワイ活動的に遊んで、お片付けの時間になると、「お茶が飲みたい。」や「トイレに行きたい。」と言う3歳のA児。

保育者は、

「お片付けの時間だから、終わってからにしようね。」
と、伝えた。

<p>保育事例に対する感想</p>	
<p>演習のポイント</p>	<p>① 片づけを嫌がるA児の気持ち、一日の保育全体はどのようなものだと考えられますか？</p> <p>②</p> <p>③</p>
<p>演習後の感想</p>	

事例 NO. 21 「早くしないと、遊ぶ時間がなくなるよ」

朝の用意で、着替えをゆっくりしている5歳のA児に、保育者は、「早くしないと、遊ぶ時間がなくなるよ。」と伝えた。

<p>保育事例に対する感想</p>	
<p>演習のポイント</p>	<p>① 二重の否定ではなく、肯定的に伝える方法にはどんなものがあるでしょうか？</p> <p>② A児の遊びたいという気持ちは、保育者が思っているとおりでしょうか？</p> <p>③ 着替えの前、着替え中にできることにはどんなことがあるでしょうか？</p>
<p>演習後の感想</p>	

事例 「足ちょきちょきしちゃうよ」

2歳のA児は、足をしっかりと床につけて椅子に座ることが苦手で、すぐに椅子の上で正座をしてしまう。そのために、今まで転げ落ちてしまったことがある。

夕方の延長保育の時間、B保育士はA児から離れた場所に座っていたが、A児が椅子の上で正座をしてパズル遊びをしているのに気づき、座ったままみんなに聞こえる声で、

「A君、そんな座り方していたら、足ちょきちょきしちゃうよ。」
と言った。A児はすぐに足をおろした。ところが、B保育士の隣に座っていたC保育士が、立ち上がってハサミを持ち、A児の傍まで行って、すでにおろしている足を切る真似をした。他の子どもたちは、C保育士が立ち上がる場所からずっとその様子を見ていた。

同じ保育室にいた他の保育士は、その様子を見て、笑っていた。

<p>保育事例に対する感想</p>	
<p>演習のポイント</p>	<p>① B保育士の懲罰的な言動は、A児にどんな影響を与えるでしょうか？</p> <p>② C保育士はなぜハサミできる真似をしてしまったのでしょうか？</p> <p>③ 他の保育士は、なぜその様子を見て笑ったのでしょうか？</p>
<p>演習後の感想</p>	